

対人コミュニケーションにおける 同調傾向と好意

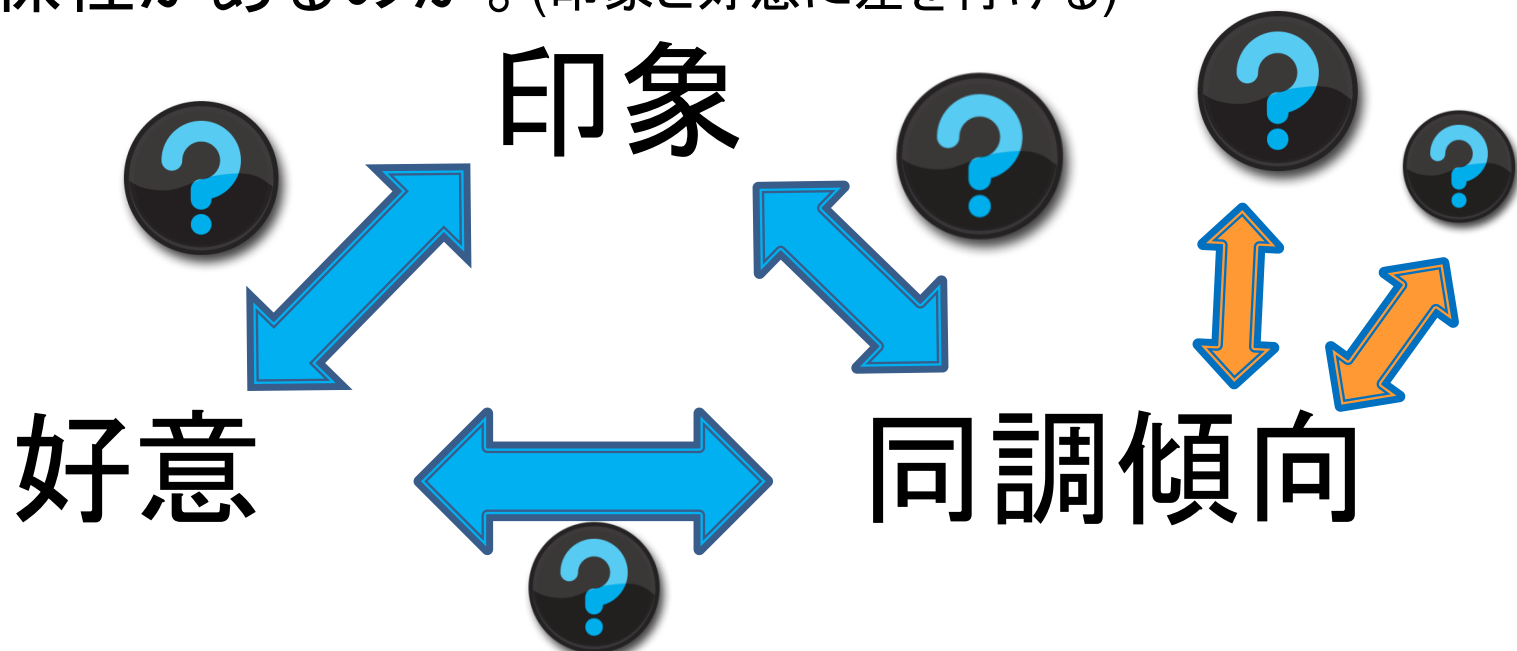
生活文化学科 08461316

安藤ゼミ 西本 麻衣



1.目的

- 複数名による対人コミュニケーションにおける以下3点の関係性があるのか。(印象と好意に差を付ける)



- その他、どのような要因で同調傾向が起こるのか。

- 同調傾向はどちらに起きやすいのか？



- どんな種類の同調傾向が起こるのか？

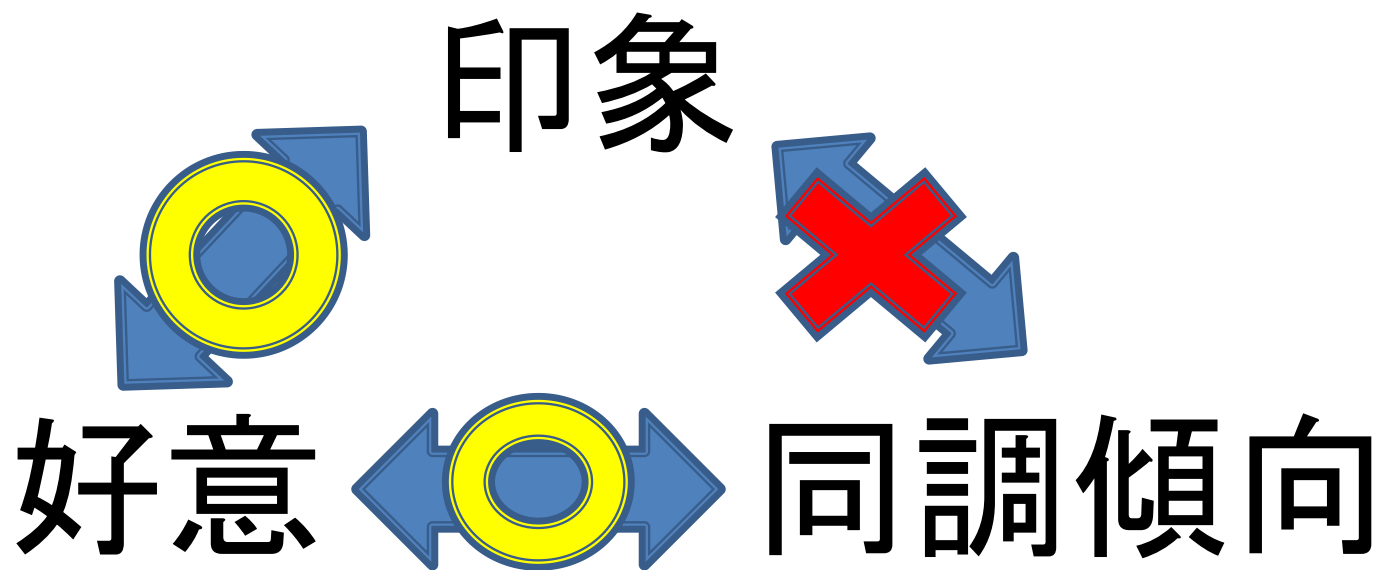
2.方法

- 6～8名での合コンを計4回開催
- 合コンの様子をビデオカメラにより撮影
- 合コン終了後、異性一人一人に対する印象評定の質問紙アンケートを実施(好印象と好意の差を図る)

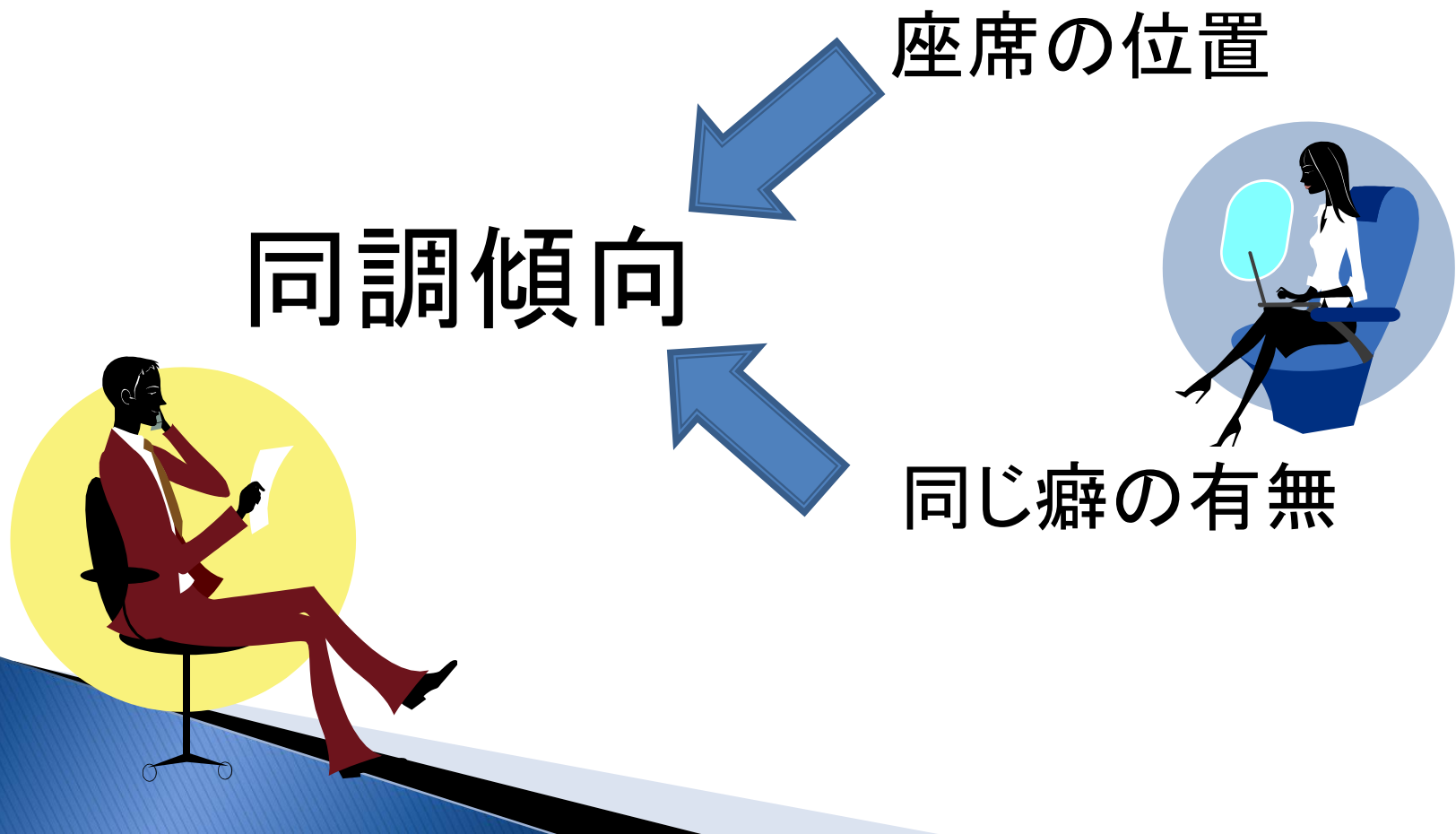


3.結果

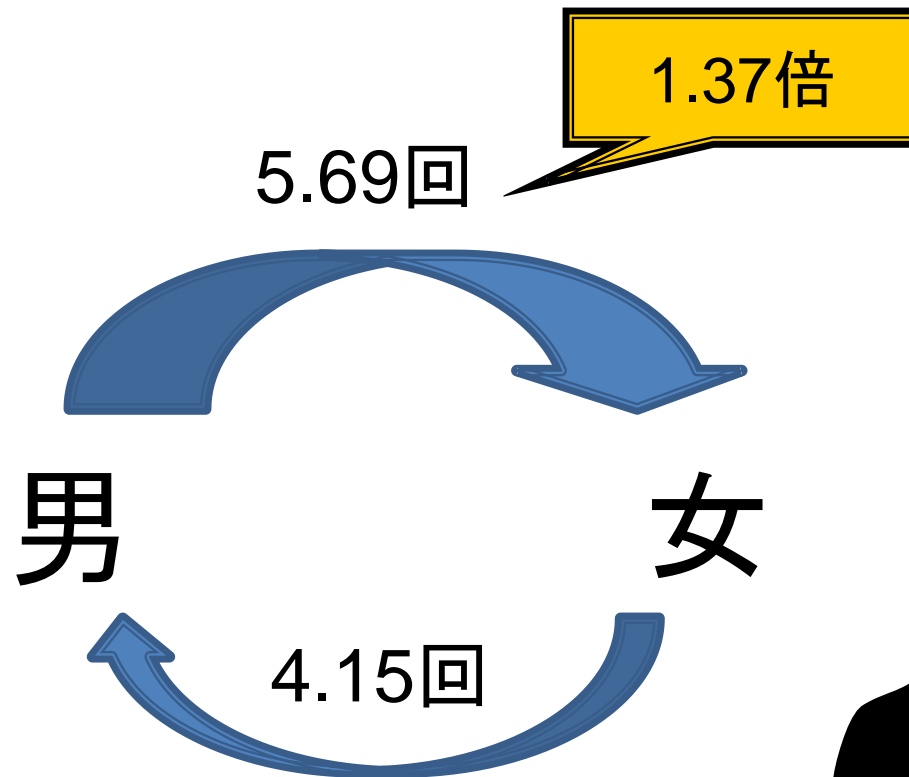
- 印象(好感度)と好意、好意と同調傾向には関係がある。しかし、印象(好感度)と同調傾向には直接的な関係はなかった。



- 座席の位置が近いほど同調傾向は多く現れた。
- 手癖を持っていると同調傾向が生まれやすかった。



- 姿勢反響の回数は、女性が男性に同調傾向を表すよりも、男性が女性に同調傾向を表す回数が1.37倍多かった。



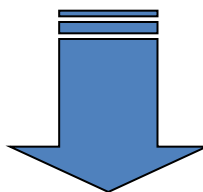
● 観察された同調傾向の種類

- 肘をつく
- 髪の毛を触る
- 顔を触る
- 飲み物を飲む
- 腕を組む
- おしぼりを触る
- 頭を触る
- 口を触る
- 鼻を触る



4. 考察

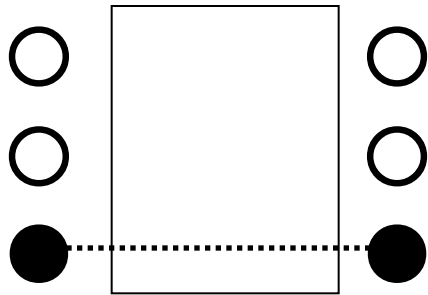
人として好意がある(印象評定)



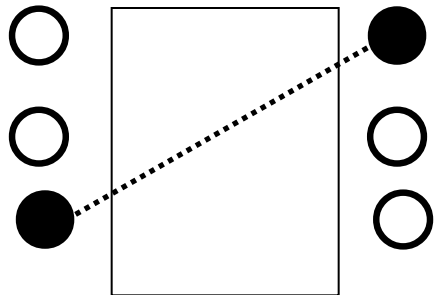
より同調傾向が多く見られる

恋愛対象として好意がある

● 座席



一般的には
近くに座ったもの同士が
多く姿勢反響を表す。

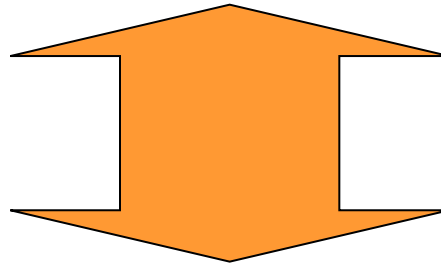


しかし
離れた席に座っていても
好意を持つことで多くの姿勢
反響が起こることもある。

さいごに

好意があれば同調傾向がより多く見られる。
座席が近ければ、同調傾向がおきやすい。

逆転の発想が使える!?



同調傾向を故意に起こせば好意を持ってもらえる？
好意を持ってもらうためには近くに座るべき？

ご清聴ありがとうございました。

